

教員地域貢献活動支援事業（インキュベーション型）の審査について

1 審査の基本的な考え方

- (1) 応募のあった案件につき、学内の審査会において、提出された申請書に基づき、2の審査項目の視点及び全学的な地域貢献推進の視点から審査します。
- (2) 事業採択にあたり、事業がより充実したものになるよう審査します。

2 審査項目

- (1) 地域課題の具体性
 - ア 地域課題や地域の人材開発、あるいは環境未来都市構想における課題が具体的であるか。
 - イ 単に、特定の技術や製品等の開発、民間企業等の特定の個人・事業者の利益を目的とした課題となっていないか。
- (2) 研究方法、方向性
 - ア 課題解決方法は適切か。
 - イ 本学が取り組むべき内容か。
- (3) 成果の見込み及び今後の発展可能性
 - ア 本事業をきっかけとした課題の解決によって、環境未来都市構想への貢献、地域の活性化、地域の人材開発などの成果が期待できるか。
 - イ 今後、本事業協働型を含む外部資金の獲得、市や県への政策提言、地域関連の新たなカリキュラムの開発等に結びつく可能性があるか。
 - ウ 成果に向けた前年度までの取組は十分か。（継続課題の場合）
- (4) 企画・斬新性
 - ア 新たな視点を持ち、工夫やアイデアに富んだ内容であるか。
- (5) 遂行能力・計画性
 - ア 実施内容、スケジュールは適切であるか。
 - イ 成果をあげる体制が整っているか。
 - ウ 予算見積りが適正であるか。